

地域密着型サービス介護医療連携推進会議報告書

会議名称	令和 5 年 第 1 回 介護医療連携推進会議			
事業所名	・ホームヘルプサービスひまわりの園			
サービス種類	・定期巡回随時対応型訪問介護看護			
開催日時	令和 5 年 9 月 22 日 (金) 13 時 30 分 ~ 14 時 20 分			
開催場所	ひまわりの園相談センター 会議室			
出席者	区分	人数	区分	人数
	利用者代表	0	地域医療関係者	1
	利用者家族代表	1	地域住民代表 (民生委員)	0
	市町村職員 (長寿福祉課)	1	知見を有する者	0
	〃 (介護保険係)	0	(燕弥彦医療介護連携 C)	
	〃 (地域包括支援 C)	1	連携訪問看護ステーション	1
	事業所	1	統括管理	1
欠席者	三富 (民生委員)、伊藤 (燕弥彦医療介護連携 C)			

《現状報告》

○利用者現状報告・・・資料 1 参照

新規登録者 0 名		登録解除者 0 名	
月/日	理 由	月/日	理 由

○活動状況・・・配布資料参照

○職員研修・・・〃

○感染症の対策等・・・〃

○ヒヤリハット・事故報告書・・・〃

○サービス評価・・・

※評価表に自己評価を記入した一覧表を配布し評価理由を口頭で説明した。

1. 在宅統括より

- ・令和5年4月より広域型のデイサービスとショートステイの事業を小規模多機能型居宅介護とグループホーム、地域密着型デイサービスに転換し運営している。
- ・令和6年度の計画一ひまわりデイと太陽デイの統合、空いたデイのフロアを活用し、児童クラブの事業を始める。
- ・人材不足という現状で当法人も介護員が不足している。募集をしても就業に繋がらない。

2. 介護医療連携推進会議による要望・評価・助言等

構成員より

- ① 感染症に対して他のヘルパー事業所はコロナの陽性者にはなかなか入ってもらえないが、当事業所は訪問し、しかもヘルパーが感染することなく業務を行っている為、良いと思う。これからも感染症がなくなることはないと思うので引き続きよろしくお願ひします。
- ② 介護度の高い人がいないがそれはなぜか。
→介護度の高い人は訪問看護が定期的に入っているケースが多く、当事業所は連携型の為定随に該当しない事がある。過去の定随のご利用者で要介護3の方がいられたがその他の方は要介護1または2の方がほとんどだった。
- ③ パンフレットを作成し、アピールしなかったのはなぜか。人員の問題かそれとも他に理由があるのか。
→人員不足の問題も大きな理由だが、アピール不足は反省している。制度が分かりにくい為、パンフレットを作成しケアマネにも理解してもらい、本当に必要な方に定随を利用してもらいたいと考えている。
- ④ 1日4回位の訪問を想定していたが、現在のご利用者は1,2回との事で驚いている。過去のご利用者で1日最高何回位の訪問があったか。
→過去において多かった方は定時訪問で1日4回のストマの確認の方。
他の方で1日3回の定時訪問の他に随時呼出しがあり訪問するケースがあった。
- ⑤ 訪問介護の利用者に定員はあるか。
→通常の訪問介護には定員はありません。ご利用者其々に週の訪問回数や訪問時間が違う為、週間の訪問予定表を確認し、空きがあれば新規を受け入れるようにしている。
- ⑥ 訪問の依頼がくるのはケアマネからだけか。
→病院の相談員からの問合せがくることもある。
- ⑦ 利用者家族代表
母が生きている頃から両親揃ってお世話になっています。その頃はフルタイムで働いていたので本当に助かりました。母が亡くなってからも父のところに毎日来ていただき有難く思っています。

3.その他

近年、60代、70代のご利用者がいられ、その介護者の方が30代、40代の方もいられます。今までのご利用者の方々と生活スタイルや趣味嗜好も大きく変わっていると実感しております。介護者の方の感覚の違いに戸惑うことも多々あります。(食生活の変化やご利用者宅のカメラの設置状況、スマホでの遠隔操作等を例に挙げた。)

※本日はこの会議の趣旨をご理解いただき、ご多忙の中参加して頂き誠にありがとうございました。今後とも法人及び事業所へのご助言など頂ければ幸いと存じます。